

# COC Monthly News Letter

COC: Center of Community (地(知)の拠点)

Yamanashi Prefectural University

山梨県立大学の地域貢献活動を毎月1回お届けします。

2017年12月号

Vol. 31



グローバルな知の拠点となる大学  
未来の実践的担い手を育てる大学  
地域に開かれ地域と向き合う大学

## Topics

最新のニュース・話題など大学での出来事をお伝えします。

### ◇第3期やまなし市民後見人養成講座

11月26日(土)より、6回にわたり開催される、第3期やまなし市民後見人養成講座が始まりました。毎年、40名近くのお申込があり、今年度も大勢の方が受講されています。当日も受付しておりますので、ご興味のある方は、是非、足を運んでいただければと思います。

- 第3回 12月10日(土) 「社会福祉協議会等の活動からみた市民後見」
- 第4回 12月16日(土) 「障害者への理解と市民後見活動」
- 第5回 1月21日(土) 「高齢者の理解と対応方法」
- 第6回 1月28日(土) 「地域に根差す市民後見人誕生に向けて」

以下、第1回と第2回の講座を受講した学生からのコメントです。

\*\*\*\*\*

11月26日(土)に、今年度の「やまなし市民後見人養成講座」が開講されました。昨年度に引き続き、30名と多くの方にお申込いただき、ありがとうございました。

第1回は、リーガルサポート山梨から司法書士の小林恵先生を講師にお迎えし、「市民後見人の概要と地域における後見人の役割」をテーマに、成年後見制度や市民後見人に関する詳しいお話をしていただきました。質疑応答の時間には、さまざまな意見が交わされるなど、受講者の皆さんの熱心な姿が見られました。

(国際政策学部 総合政策学科3年 松田聖雪)

12月3日(土)に、第2回やまなし市民後見人養成講座が開催されました。

今回は弁護士の松本成輔先生を講師にお迎えし、「後見制度と民法」をテーマにお話していただきました。先生の分かりやすいご説明により、後見に関する民法の知識を広げることができたと思います。相続について実際に計算をしてみる場面では、先生と受講生のみなさんが一緒に考え、楽しく学んでいる様子も見られました。

(国際政策学部 総合政策学科3年 松田聖雪)



第1回



第2回

## イベント情報

気になる話題の情報やためになる講習会や研修会をご紹介します。

### ◇小学校英語指導者育成セミナーのご案内

次のとおり「小学校英語指導者育成セミナー」を開催します。

【日時】2017年1月28日(土) 9:00~12:00

【場所】山梨県立大学 飯田キャンパス C館 102教室(〒400-0035 甲府市飯田5-11-1)

【講師】Brian Byrd 先生 ・ 藤原 真知子 先生

(聖学院大学総合研究所特任講師/都内小学校幼稚園英語講師)

【内容】午前 9:00 受付・ウォーミングアップ

午前 9:30 TEACHING CLASSROOM SUBJECTS IN SIMPLE ENGLISH (CLIL)

【受講対象】小学校教諭、ALT (定員 30名)

【参加料】無料

【問い合わせ先】お名前、所属、連絡先をメールまたはFAXでお知らせください。

FAX: 055-224-5386 (学務課) メール: english@yamanashi-ken.ac.jp (高野准教授)

## 今月のプロジェクト 大学が自信を持っておすすめするプロジェクトのご案内。

### <日本国内におけるソーシャルワーク的支援に関する研究>

人間福祉学部 人間形成学科 講師 田中 謙

本プロジェクト名は「日本国内におけるソーシャルワーク的支援に関する研究」です。今日、ソーシャルワーカーが対峙しなければならない社会的課題（社会福祉的ニーズを要する課題）は増加傾向にあると考えられます。我々のプロジェクトでは、ソーシャルワーカーが対峙しなければならない社会的課題は、今日において顕著に発生してきたわけではなく、徐々に蓄積されてきた結果であり、これまでもソーシャルワーカー以外の専門職や個人レベル・地域レベルでさまざまな対応がなされてきたと考えています。

具体的には歴史的にソーシャルワーカーが少ない地域において、保健師や教育関係者がソーシャルワーカー的な役割を担ってきており、ソーシャルワーカー以外の専門職による取り組みでも一定の成果が得られてきたという現実もあると考えています。それを実証的に明らかにするとともに、それらの取り組みが今日のソーシャルワーカーの養成にどのような意味を持つのかを考えていく予定です。

すでにプロジェクトの研究成果の一部は下記のように、2016年9月10日（土）～11日（日）に佛教大学紫野キャンパスで行われた日本社会福祉学会第64回秋季大会で発表しました。今後は道志村で実際にどのような支援がなされてきたのかを、保健師や教育関係者の方を対象に、学生とともに聞き取り調査を行う予定です。学生には、県内でのソーシャルワーク的支援の系譜を明らかにすることを通して、今後のソーシャルワークを担う人材としての自覚を高めていってほしいと思います。

1. 大津雅之・高木寛之・田中 謙（2016）：「ソーシャルワーカーがソーシャルワーク機能を担ってきた者に向けたべき視座—日本国内における「ソーシャルワーク的支援」に関する研究①—」、『日本社会福祉学会第64回秋季大会プログラム』（佛教大学）、25-26。
2. 高木寛之・大津雅之・田中 謙（2016）：「専門職養成課程における地域アセスメントの視点の相違—日本国内における「ソーシャルワーク的支援」に関する研究②—」、『日本社会福祉学会第64回秋季大会プログラム』（佛教大学）、235-236。
3. 田中 謙・大津雅之・高木寛之（2016）：「教育領域における社会的ニーズへの取り組み—日本国内における「ソーシャルワーク的支援」に関する研究③—」、『日本社会福祉学会第64回秋季大会プログラム』（佛教大学）、237-238。

## 担当教員紹介 個性派揃いの優秀な教員の意外な素顔を紹介します。

### <人間福祉学部 人間形成学科 講師 田中 謙>

出身は中華街や赤レンガ倉庫で有名な横浜です。東京で大学院課程を修了後、保育者養成を行う短期大学を経て本学に赴任しました。趣味は温泉めぐりなので、温泉の豊かな山梨県の自然をもっともっと堪能したいと思っています。

専門は教育学ですが、経営学や社会学の理論を参考に研究を進めています。また研究テーマとしては「戦後日本における障害乳幼児の支援の歴史」に一貫して取り組んでおり、児童発達支援センター等の児童福祉施設等の歴史的展開過程を明らかにする作業を進めています。

歴史的研究を通して、十分な社会資源の開発がなされていなかった時代に、保護者や支援関係者がどのように社会資源の開発に携わってきたのかを明らかにすることにより、当時の方々の資源開発のための「知恵」（Knowledge）が明らかとなります。この「知恵」は今日の社会資源開発や整備においても多くの示唆を与えるものです。今後もプロジェクト研究を通して、山梨県内の社会資源開発や整備に資する知見を得ていきたいと思っています。



人間福祉学部／講師 田中 謙

今年は、インフルエンザの流行時期が例年より早く、私の娘も先日インフルエンザにかかりました。今から、ノロウイルス等も流行ってくる時期です。何卒健やかに良い年を迎えられるようお祈りいたします。

編集発行：公立大学法人 山梨県立大学 地域戦略総合センター

〒400-0035 山梨県甲府市飯田5-11-1 TEL:055-225-5412 FAX:055-225-1150

ポータルサイトURL <http://region.yamanashi-ken.ac.jp/>

購読申し込みURL <http://region.yamanashi-ken.ac.jp/newsletter>

文部科学省

地(知)の拠点

